

秋保大滝植物園だより

No.20 春に見られる雑草と呼ばれる植物号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおつてお届けします。
今回は春に見られる雑草と呼ばれる植物です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



ハコベ【繁縷】 花：4月～9月
地面を這うように枝を伸ばして繁茂する畑の嫌われ者。雄しべは5～10ある。花びらは5枚だが切れ込みがあり10枚に見える。



コハコベ【小繁縷】 花：3～10月
ハコベよりも葉が小さい。雄しべは5内外と少ない。ヨーロッパ原産の帰化植物。七草のハコベはこの種といわれている。



キュウリグサ【胡瓜草】 花：5月中～下葉をもむとキュウリのようなにおいがすることから名づけられた。花びらは水色、中心が黄色のかわいい小さな花を咲かせる。



ハナイバナ【葉内花】 花：5月
葉と葉の間に花が付く。小さな空色の花が咲く。中心が白いのので、キュウリグサとの区別がつく。



オオイヌノフグリ【大犬の陰囊】 花：3月～5月 ヨーロッパ原産の帰化植物。種の形が犬の陰囊に似ているのはタチイヌノフグリでこちらはハート形。なぜ花にちなんだ名前にならなかったの？



カタバミ【酢漿草、片喰、傍食】
花：5月～7月 いつの間にか花壇や鉢物に根を深く伸ばしてちゃっかり居座る。ヤマトシジミ (蝶) の食草。



ツクシ【土筆】 花：4月～5月
羊歯の仲間。花の時期は土筆、葉の時期はスギナと呼ばれる。園内の痩せた場所に生えている。



ハルガヤ【春芽】 花：5月
イネ科の多年草。全体に桜餅のような甘い香りがある。花粉症を引き起こすことでも知られている。



ミチタネツケバナ【道種漬け花】
花：4月 ヨーロッパ原産の帰化植物。園内の花壇付近に増え続けている。花はごく小さい。種は上向きにつく。



タネツケバナ【種漬け花】 花：4月
在来種。ミチタネツケバナよりも花期が遅く、花びらも大きい。全体に毛が多い。園内での数は少ない。



スイバ【蓼・酸い葉】 花：5月下旬～6月
名前の通り葉っぱを噛むと酸っぱい。スカンボとも呼ばれて古くから親しまれている。雌雄異株。



ヒメオドリコソウ【姫踊り子草】
花：4月～5月 ヨーロッパ原産の帰化植物。花は小さく淡紅色。赤紫の葉のほうが目立つ。



シロツメクサ【白詰草】 (クローバー)
花：4月～6月 ヨーロッパ原産の帰化植物。家畜飼料として導入されたが雑草化している。四つ葉を見つけると幸せな気分♡



コメツツメクサ【米粒詰草】
花：5月下旬～6月 ヨーロッパ・西アジア原産の帰化植物。シロツメクサに似ているが花は黄色で全体に小さい。



ハルジオン【春紫菀】花：4月下旬～5月
北アメリカ原産の帰化植物。観賞用として持ち込まれたが、今では雑草化している。ツボミの時はしおれて元気がないように見える。



スズメノカタビラ【雀の帷子】
花：4～9月 イネ科の越年草。身近にごく普通に見られる。どこにでも生え、抜いても抜いても出てくる。



ハハコグサ【母子草】 (ゴギョウ)
花：4月～5月 春の七草のひとつ。全体に綿毛におおわれ、白っぽく見える。黄色い小さな花が固まってつく。



ナズナ【薺】 (ペンペン草)
花：3月～5月 春の七草のひとつ。果実は軍配型。こぼれた種子は秋に芽生えて冬を越す。



スズメノヤリ【雀の槍】
花：5月 園内では芝生内に多く生えている。全体の様子はイネ科に似るが、イグサ科の植物。花の咲き方が面白いので人気がある。



チチコグサ【父子草】 花4月～5月
由来は母子草は黄色い花が映えるが、父子草は全体に地味(色気がない)ので名付けられたという説が面白い。花の特徴はエーデルワイスに似ているが注目されることも少ない。